

DAICEL TODAY

株主の皆様へ

第154期 報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

100th
Surprise! DA future.

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、この度の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、罹患された皆様とご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

当期は、厳しい経済環境の下、コストダウンの徹底や、新事業育成を目指した組織改革の断行など、上昇基調を取り戻す転換期とすべく取り組みを進めてまいりましたが、年度末に発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響も受け、減収減益となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響は、未曾有の経済危機を招いていますが、今後、人々の暮らしや経済活動にも大きな変化をもたらすものと考えています。現在の業績だけでなく、こうした変化への備えも重要と考え、具体的なアクションにも取り組んでいます。

①新型コロナウイルス感染症対策への貢献

ワクチン開発の治験に当社の実験用薬剤投与デバイスを提供。

消毒液用に当社の原料用エタノールを提供。

自治体や大学などへマスクを寄付。当社グループ内における感染防止の徹底による感染拡大の防止など。

②現在の景気低迷に対する足元固め

不急な投資案件の取りやめ。在庫や経費の圧縮など、コストダウンの積み増し。

手元流動性の確保など。

③景気回復への備え

環境変化に対する経営計画の柔軟な見直しと運用。テレワーク実績を今後の働き方改革へ応用し人事制度へ反映。パンデミックに伴うサプライチェーンの変化への対応と新たなビジネス機会の探索など。

これまで経験したことのない変化の渦中にありますが、これにひるむことなく、新長期ビジョン、中期戦略を着実に推進し、人々の幸せ実現に貢献する企業として成長を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

小河 義美

2020年6月

お知らせ

臨時株主総会を開催し、第154期報告事項をご報告します

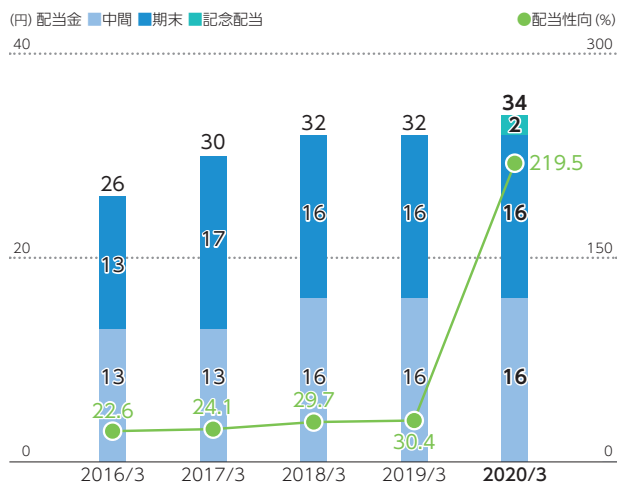
第154期報告事項は、決算手続きと会計監査人の監査報告の受領等、所要の手続きを完了した後に、第154回定時株主総会にて株主の皆様にご報告する予定でした。しかしながら、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う各国における自粛要請等の影響により、連結決算業務および会計監査に遅れが生じたことにより決算関連手続きが完了せず、第154回定時株主総会での第154期報告事項のご報告を断念いたしました。第154期報告事項のご報告に関しましては、改めて基準日を設定して臨時株主総会を開催し、報告させていただく予定です。臨時株主総会の日程は、確定次第、速やかにお知らせいたします。

本報告書には、決算情報を掲載しておりません

第154期決算が未確定のため、本報告書には、決算情報を掲載しておりませんのでご了承ください。なお、5月27日に会計監査人の監査前の決算情報を発表しております。決算の内容は、当社のWebサイトをご覧ください。

株式会社ダイセル Webサイト ▶ IR情報 <https://www.daicel.com/ir/>

株主還元について



〈自己株式取得と自己株式消却の実施〉

- 約594万株、約61億円の自己株式取得を実施
(取得期間：2019年4月～ 8月)
※2019年2月発表分の当期取得分
- 2,200万株、200億円を上限とする自己株式取得を実施中 (取得期間：2019年11月～ 2020年7月)
※2020年3月末までに約1,177万株、117億円の取得を実施
- 2020年3月に1,600万株の自己株式消却を実施 (消却前発行済株式総数に対する割合 4.82%)

セグメント区分の変更

2020年4月1日付けで「戦略ビジネスユニット(SBU)」を中心とする組織に移行したことに伴い、2021年3月期よりセグメント区分を従来の「セルロース」「有機合成」「合成樹脂」「火工品」「その他」から「メディカル・ヘルスケア」「スマート」「セイフティ」「マテリアル」「エンジニアリングプラスチック」「その他」に変更いたします。

新セグメント

メディカル・ヘルスケア

スマート

セイフティ

マテリアル

エンジニアリング
プラスチック

その他

旧セグメント／主な製品

有機合成	化粧品原料(1,3-BG、ポリグリセリン類)
	健康食品(エクオール、セラミド)
	キラルカラム、高純度キラル試薬
その他	製剤ソリューション(プレミックス添加剤)
セルロース	液晶保護フィルム用酢酸セルロース
有機合成	半導体レジスト、電子材料向け溶剤
合成樹脂	高機能光学フィルム
その他	光学デバイス、有機半導体デバイス
火工品	自動車安全部品、民生用火工品
合成樹脂	樹脂コンパウンド製品(自動車用途)
セルロース	酢酸セルロース(液晶保護フィルム用途以外)
	たばこフィルター用アセテート・トウ
有機合成	酢酸、酢酸誘導体
	エポキシ化合物、カプロラクトン誘導体
合成樹脂	エンジニアリングプラスチック
	樹脂コンパウンド製品(自動車用途以外)
	樹脂成型加工品(シート、食品包装用フィルム)
セルロース	水溶性高分子
その他	メンブレン製品
火工品	防衛関連製品

より詳細なデータにつきましては、当社IR情報サイトをご参照ください。

<https://www.daicel.com/ir/> ダイセル IR 検索

		150期	151期	152期	153期	154期
売上高	(億円)	4,499	4,401	4,630	4,649	4,128
営業利益	(億円)	643	643	589	512	296
売上高営業利益率	(%)	14.3	14.6	12.7	11.0	7.2
経常利益	(億円)	654	662	611	534	318
親会社株主に帰属する 当期純利益	(億円)	403	432	371	353	50
総資産純利益率(ROA)	(%)	7.2	7.4	6.0	5.5	0.8
自己資本純利益率(ROE)	(%)	12.2	12.2	9.8	9.1	1.3
自己資本比率	(%)	60.2	61.6	60.1	60.1	60.6
総資産	(億円)	5,602	5,997	6,403	6,548	5,980
純資産	(億円)	3,687	3,994	4,135	4,232	3,926
1株当たり当期純利益	(円)	115.02	124.61	107.81	105.38	15.49
1株当たり純資産額	(円)	966.36	1,067.63	1,136.32	1,198.77	1,166.56
1株当たり配当金	(円)	26	30	32	32	34
配当性向	(%)	22.6	24.1	29.7	30.4	219.5

(注) 154期は、2020年5月27日発表の会計監査人監査前の数値をご参考として記載しております。

用語解説

■総資産純利益率(ROA: Return On Asset)

純利益を総資産で割ったものであり、事業に投下した資産がどれくらい利益を生み出したかを表す。

親会社株主に帰属する
当期純利益
—————
総資産

■自己資本純利益率(ROE: Return On Equity)

純利益を自己資本で割ったものであり、株主から拠出された資金を活用して、どれくらい利益を生み出したかを表す。

親会社株主に帰属する
当期純利益
—————
自己資本

会社概要 (2020年3月31日現在)

商号 株式会社ダイセル
英文商号 Daicel Corporation
大阪本社 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1
 (グランフロント大阪 タワーB)
 Tel. 06-7639-7171
東京本社 〒108-8230 東京都港区港南2-18-1
 (JR品川イーストビル)
 Tel. 03-6711-8111
設立 1919年9月8日
資本金 362億7,544万89円
従業員数 連結:11,606名 単体:2,492名
役員 (2020年6月19日現在)

取締役

取締役会長 札幌 操
代表取締役社長 小河 義美*
代表取締役 杉本幸太郎*
取締役 榊 康裕*
取締役 高部 昭久*
社外取締役 野木森雅郁
社外取締役 北山 禎介
社外取締役 八丁地園子
社外取締役 浅野 敏雄
社外取締役 古市 健

*執行役員兼務者

監査役

常勤監査役 藤田 眞司
常勤監査役 今中 久典
社外監査役 市田 龍
社外監査役 水尾 順一
社外監査役 幕田 英雄

執行役員

社長執行役員 小河 義美
専務執行役員 榊 康裕
専務執行役員 杉本幸太郎
専務執行役員 児島 秀景
常務執行役員 Dieter Heckmann
常務執行役員 上野 貴史
常務執行役員 白子 直秀
常務執行役員 高部 昭久
常務執行役員 川口 尚孝
執行役員 吉野 幸男
執行役員 辻 康雄
執行役員 八木 幹夫
執行役員 丸山 浩一
執行役員 林 仁志
執行役員 高橋 郁夫
執行役員 藤尾 正昭
執行役員 飯山 尚志
執行役員 小島 昭男
執行役員 田鹿 治美
執行役員 山門 征司
執行役員 山口 裕康
執行役員 池田 信彦
執行役員 黒澤 和哉

株式情報 (2020年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 1,450,000,000株
発行済株式の総数 315,942,682株
 (うち自己株式 5,160,966株)

(注) 2020年3月16日に自己株式の消却を実施したことにより、「発行済株式の総数」が前年度末に比べて16,000,000株減少しております。

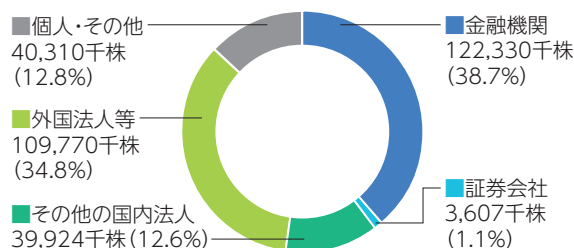
株主数 17,391名

大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	21,055	6.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,052	5.80
日本生命保険相互会社	17,402	5.59
トヨタ自動車株式会社	15,000	4.82
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	9,874	3.17
富士フィルムホールディングス株式会社	8,390	2.69
全国共済農業協同組合連合会	7,779	2.50
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	7,553	2.43
株式会社三井住友銀行	7,096	2.28
株式会社三菱UFJ銀行	6,503	2.09

(注) 出資比率は、自己株式を控除して算出し、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



(注) 自己株式は、「個人・その他」に含まれております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日より翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行います。なお、電子公告は当社のホーム ページに掲載して行います。

定時株主総会に関するご報告

本年より、決議通知を廃止いたしました。2020年6月19日開催の当社第154回定時株主総会の決議の結果につきましては、インターネット上の当社Webサイトに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

<https://www.daicel.com/ir/stockholder.html>



株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。お届出がお済みでない株主様は、お取引の証券会社等の口座管理機関へお届出ください。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- ▶ 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- ▶ 証券会社とのお取引がない株主様
下記までお問い合わせください。
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

お知らせ

→ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がない株主様(特別口座をご利用の株主様)は、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

→ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

Actranza™ lab.

アクトランザ™ ラボ



大阪大学とアンジェス株式会社の 新型コロナウイルス感染症向けDNAワクチン 共同開発に新規投与デバイス 「アクトランザ™ラボ」技術で参画

3月13日、当社は、大阪大学とアンジェス株式会社(本社:大阪府茨木市、代表取締役社長:山田英)による新型コロナウイルス感染症(COVID-19)向けDNAワクチンの共同開発に参画しました。当社の細胞内へ薬剤を送達する新規投与デバイス「アクトランザ™ラボ」技術を本共同開発に提供します。DNAワクチン投与の際に本技術を使用することにより、遺伝子発現効率およびDNAワクチンの抗体産生力を上げることで、より有効性の高いDNAワクチン開発が期待できます。

詳細はWebサイトで
ご覧ください。



TOPICS

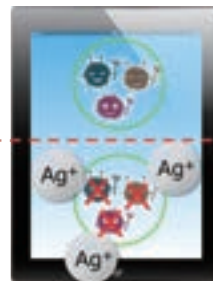
抗ウイルス機能を付与したタッチパネル表面保護フィルムを開発

当社グループ独自の素材や技術を駆使した光学用ハードコートフィルムは、スマートフォンやタブレット用表面フィルム、車載ディスプレイなどに採用され、好評をいただいております。これまでの抗菌機能に加え、銀イオンによる抗ウイルス機能を持つタッチパネル表面保護フィルムを開発し、6月から発売する予定です。日常生活で触れる機会の多いスマートフォンをはじめ、医療・教育現場で使用されるタブレット端末や、不特定多数が操作するタッチパネルのスイッチなどの保護フィルムとしてお使いいただくことで、ウイルスによる感染リスクを低減させることが可能です。

ダイセルグループの高機能フィルムを
当社Webサイトで紹介しています。



加工なし
加工あり



銀イオンの力でウイルスや菌から守ります